



山口大学 公開講座開放授業

2026 年度後期受講生募集のご案内



目 次

公開講座受講のご案内	1
公開講座詳細	2
開放授業受講のご案内	9
開放授業詳細	1 1
アクセスマップ	1 6
公開講座・開放授業後期受講申込書	

お申込みにより取得した個人情報は、個人情報保護の観点から
厳重に管理し、次の目的以外には使用しません。

- ①当該講座又は当該授業への登録及び受講に関する連絡・運営
- ②今後の公開講座等の案内
- ③統計情報の作成

公開講座受講のご案内

1. 公開講座とは

「公開講座」は、地域住民の皆様の知的好奇心に応え、地域社会の知的啓発に役立てることを目的に、山口大学の教員が講師となり、市民の皆様を対象に開講する講座です。

2. 申込方法等

① 受講の申込み

受付開始日 2026（令和8）年7月13日（月）9時00分
締切日 各講座の「申込締切日」欄をご確認ください。

- 電話・FAX・Web・郵送のいずれかの方法でお申し込みください。
※メールでは受け付けていません。

山口大学公開講座



Web申込みは地域未来創生センターHPから▶

- お申込みの際は、①氏名（ふりがな）、②年代、③性別、④郵便番号・住所、⑤電話番号、⑥連絡用メールアドレス、⑦受講希望講座名をお知らせください。
高校生以下の方は学年、山口大学学生の方は在学中である旨お知らせください。
- 各講座の空き状況は、センターのホームページで確認できます。
- 申込みは先着順で、申込人数が定員に達した場合は、「キャンセル待ち」として受け付けます。ただし、受講条件によっては、受付順が先着順ではない講座もあります。
- 郵送で送付された場合は、消印有効とします。

② 受講料の振込み

- 申込受付後、「受講料振込案内」を郵送しますので、振込期限までに指定口座へお振り込みください。
小学生・中学生・高校生・山口大学在学学生は、受講料が無料です。
入金確認完了の連絡はしていません。
振込期限までにご入金を確認できない場合は、受講することができません。

③ 受講案内・受講

- 講座開始の1週間前までに、連絡事項等を記載した「受講案内」を郵送します。
- 講座当日は、「受講案内」に記載した会場へ直接お越しください。

3. 留意事項

- 受講を辞退される場合は、必ずセンターまでご連絡ください。
受講料お振込み後に自己都合により受講を辞退される場合、受講料の返還はできません。
受講権利の譲渡、代理出席等お申込者ご本人以外の受講はお断りしています。
- 小学生が受講する場合は、保護者1名の申込み（受講料要）が必要です。
託児所はありませんので、乳幼児を連れてのご参加はご遠慮ください。
- 講座開講1ヶ月前時点で、最少開講人数5名に満たない場合は、講座の開講を中止し、受講料を返還します。
- 小串キャンパスは、駐車場をご用意できません。
ルルサス文化センターは、指定駐車場（1時間無料）の2時間分駐車券を配付予定です。
- 気象状況、感染症の拡大、講師の体調不良等により、やむを得ず日程を変更する場合があります。
変更した日程での受講が難しく、当該日の受講を辞退・欠席される場合は、当該日分の受講料を返還します。
- 領収書が必要な場合は、申込時にお申し出ください。

13 今日から始めるグリーンライフ（後編）

対面型

講師 竹松 葉子（大学院創成科学研究科（農学）教授）・佐々木 一紀（大学院創成科学研究科（農学）准教授）・高田 暁（技術専門職員）・竹田 重寿（技術専門職員）・石掛 桂士（技術専門職員）・井上 敬之（技術専門職員）

【講座の内容】

グリーンライフという言葉から、皆さんはどのようなことを連想しますか。この講座は、これから野菜・果樹作りにチャレンジしたい方や、農作物の栽培に興味や関心のある方へ向けた、知識や技術を基礎から学び理解するための実践的講座です。緑が身の回りにあることはとても幸せなことです。是非、この機会に山口大学附属農場で実り多い野菜栽培を学びませんか。後期は教材として、白菜や大根などを取り扱う予定です。

※前期開講「今日から始めるグリーンライフ（前編）」の続きのため、前編受講生を優先的に受付します。なお、より多くの方に受講していただくため、昨年度（2025年度）に「今日から始めるグリーンライフ（後編）」を受講された方の申込みは、ご遠慮ください。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 20名・今日から始めるグリーンライフ（前編）を受講済みの方又は野菜栽培経験の少ない初心者の方（未受講者優先）

【受講料】 6,500円（傷害保険料を含む。）

【開講日時】

9月 18日（金）	10:00 ～ 12:00	実習「上手な野菜苗の作り方、秋野菜（白菜・大根など）の播種・植付け」
10月 23日（金）	10:00 ～ 12:00	講義「昆虫と上手に付き合う作物栽培」
11月 6日（金）	10:00 ～ 12:00	講義「作物の病気と対策」
11月 20日（金）	10:00 ～ 12:00	実習「果樹の剪定と管理、秋冬野菜の収穫」

【申込締切日】 8月28日（金）

【後援】 山口市教育委員会

14 一緒に、ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）作品、外国文学、日本文学を読み、自由に語り合しましょう

対面型

講師 藤原 まみ（国際総合科学部准教授）

【講座の内容】

ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）作品、日本語で書かれた作品や日本語に翻訳された作品と一緒に読みましょう。作品を読んで感じた思いを自由に表し、同時に、他の方の自分とは違う感じ方・考え方を知り、文学を読む喜びを共有しませんか？文学作品は開かれたものです。「一つの正しい読み」などはありません。自分とは違う、他者の読みを共有することによって、作品の新たな面に出会いましょう。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 15名・どなたでも

【受講料】 8,000円

【開講日時】

9月 30日（水）	14:40 ～ 16:05	ラフカディオ・ハーン「常識」
10月 28日（水）	14:40 ～ 16:05	ラフカディオ・ハーン「生霊」
11月 25日（水）	14:40 ～ 16:05	ラフカディオ・ハーン「死霊」
12月 23日（水）	14:40 ～ 16:05	芥川龍之介「母」
1月 27日（水）	14:40 ～ 16:05	太宰治「待つ」
2月 24日（水）	14:40 ～ 16:05	バルザック「アデュー」
3月 31日（水）	14:40 ～ 16:05	マラマッド「ドイツ難民」

【申込締切日】 9月9日（水）

【後援】 山口市教育委員会

15 ラテン語初級文法講座Ⅴ

対面型

講師 南雲 泰輔（人文学部准教授）

【講座の内容】

ラテン語は、古代ローマ人によって使用された言語です。本講座では、ラテン語の格言 Festina lente（ゆっくり急げ）に従い、田中利光『ラテン語初歩 改訂版』（岩波書店、2002 年）をテキストとして、ローマ帝国の歴史や文化にも言及しつつ、初級文法を基本からゆっくりと学んでいきます。本年度のラテン語初級文法講座Ⅴでは、テキストの第 XLIV 課から第 LI 課までの 8 課分を扱い、テキストを 1 冊やり終えます。テキストは、講座初回までに各自で入手の上、毎回持参してください。本講座から初めて受講される方は、テキスト第 XLIII 課までを独習済みであることが必要です。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 20 名・ラテン語初級文法講座Ⅰ～Ⅳを受講済みの方、またはテキスト第 XLIII 課までを独習済みの方

【受講料】 6,400 円

【開講日時】

10 月 7 日（水）	11:00 ～ 12:00	これまでの復習、テキスト第 XLIV 課
10 月 14 日（水）	11:00 ～ 12:00	テキスト第 XLV 課
10 月 21 日（水）	11:00 ～ 12:00	テキスト第 XLVI 課
10 月 28 日（水）	11:00 ～ 12:00	テキスト第 XLVII 課
11 月 4 日（水）	11:00 ～ 12:00	テキスト第 XLVIII 課
11 月 18 日（水）	11:00 ～ 12:00	テキスト第 XLIX 課
11 月 25 日（水）	11:00 ～ 12:00	テキスト第 L 課
12 月 2 日（水）	11:00 ～ 12:00	テキスト第 LI 課

【申込締切日】 9 月 16 日（水）

【後援】 山口市教育委員会

16 首里城復興と山口 3D プリント彩色

対面型

講師 上原 一明（教育学部教授）・平川 和明（教育学部准教授）

【講座の内容】

首里城復興に向けて、山口大学は受託事業として「首里城復興基本計画推進事業による向拝奥の彫刻物（牡丹に獅子・唐草）等の製作」を受け入れました。「首里城正殿 向拝奥の彫刻物 牡丹に獅子・唐草」の木彫を復元した経緯と大内時代の周防国と琉球王国時代の関係を解説し、山口と沖縄の歴史的関連性を解き明かします。また、後半は復元した中央牡丹の縮小 3D プリントに、アクリル絵の具で彩色する実習を行います。完成した作品は、記念品として自宅に持ち帰ることができます。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 15 名・どなたでも

【受講料】 4,800 円

【開講日時】

10 月 17 日（土）	9:00 ～ 12:00	首里城復興と山口の関係
	13:00 ～ 16:00	3D プリントの彩色

【申込締切日】 9 月 28 日（月）

【後援】 山口市教育委員会

17 新しい日本語と格闘した思想家西周

対面型

講師 山下 大喜（教育学部講師）・山岡 浩二（学外講師）

【講座の内容】

近代国家の模索にあたって、その帰属意識を確かなものにするには「国語」の創造が不可欠でした。幕末明治の日本でも、西洋からの語を日本語に翻訳し取り入れ、「国語」の創造が模索されました。この講座では、津和野を題材とした講座シリーズの一環として、津和野出身の思想家西周に着目し、彼の論著から、翻訳を通じて新しい日本語をどのように模索していたのか、何を軸として「国語」を構築しようとしていたのかについて探っていきます。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 30名・どなたでも

【受講料】 3,600円

【開講日時】

10月24日（土）	14:00～15:30	講義「近代東アジアと国語」
11月14日（土）	14:00～15:30	講義「翻訳を通じた西周の格闘」
11月28日（土）	14:00～15:30	講義「国語を模索した西周の格闘」

【申込締切日】 10月5日（月）

【後援】 山口市教育委員会

18 山口県の地下水・温泉と日本酒

対面型

講師 赤壁 善彦（大学院創成科学研究科（農学）教授）・田中 和広（山口大学名誉教授）

【講座の内容】

地下に賦存する地下水について、調査方法、基礎的知識を簡単な実験を行いながら学びます。山口県内の地下水や分布する温泉水の特徴から、地下水が4つのタイプに区分されることを紹介し、新たな温泉の楽しみ方を提案します。

一方、その水で醸した日本酒の造りの種類、成分、風味と表現方法、飲み方などを学び、日本酒の香り成分と水の試飲を体験することで、山口県の水で醸した各地域の日本酒の特色と味わい方を知ることができます。

※水の試飲と、香りサンプルを嗅ぐ体験があります。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 20名・どなたでも

【受講料】 4,800円

【開講日時】

10月29日（木）	13:00～16:00	山口県の地下水および温泉の泉質と効能について解説
11月5日（木）	13:00～16:00	山口県の日本酒の造り・成分・風味などの特徴について解説

【申込締切日】 10月8日（木）

【後援】 山口市教育委員会

19 佐波川流域の弥生時代と集落遺跡

対面型

講師 田畑 直彦（埋蔵文化財資料館助教）

【講座の内容】

弥生時代は稲作を中心とした食料生産を基礎とする生活が開始された時代です。防府市を中心とする佐波川流域には、下右田遺跡や井上山遺跡など、山口県内でも著名な弥生時代の遺跡が存在します。この講座では佐波川流域の弥生時代について、集落遺跡の調査成果を紹介して変遷をたどりながら、その特徴について考えます。

【開講場所】 笑顔満開通り ルルサス防府（ルルサス文化センター交流室1）
（山口県防府市栄町1丁目5-1）

【定員・条件】 30名・どなたでも

【受講料】 2,400円

【開講日時】

11月 7日（土）	13:30～15:00	弥生時代とは・佐波川流域の集落遺跡1
12月 5日（土）	13:30～15:00	佐波川流域の集落遺跡2

【申込締切日】 10月19日（月）

【後援】 防府市教育委員会

20 ローマ帝国の衰亡と「ゲルマン人」

対面型

講師 南雲 泰輔（人文学部准教授）

【講座の内容】

古代ローマ帝国の衰退・滅亡という世界史上の大問題について、過去約半世紀ほどの研究の進展の結果、これまでの「常識」は大きく変わりつつあります。そのなかでも、ローマ帝国に外部から侵入し、その衰亡をもたらした主要因として一般に理解されてきた「ゲルマン人」の位置づけに関する見直しは注目に値するものです。この講座では、ローマ帝国の衰亡と「ゲルマン人」の関係について、講師の研究を踏まえてお話しします。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 40名・どなたでも

【受講料】 1,200円

【開講日時】

12月 16日（水）	10:30～12:00	ローマ帝国の衰亡と「ゲルマン人」についてお話しします。
------------	-------------	-----------------------------

【申込締切日】 11月25日（水）

【後援】 山口市教育委員会

講師 アロラ シュエタ（国際総合科学部講師）

【講座の内容】

ヒンディー語が初めての方を対象に、挨拶・自己紹介、買い物、道案内など日常で役立つ基本表現を分かりやすく学びます。また、食文化や衣服、結婚習俗、ディワリをはじめとしたインドの祭りについて紹介し、講座内では簡単な文化体験活動も取り入れます。言語と文化の両面からインドを楽しく理解できる入門講座です。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 40名（高校生以上・ヒンディー語の学習経験は不要）

【受講料】 8,000円

【開講日時】

1月 6日（水）	9:30 ～ 12:00	レッスン1：挨拶・自己紹介・買い物基礎
1月 20日（水）	9:30 ～ 12:00	レッスン2：道案内表現と衣服文化
1月 27日（水）	9:30 ～ 12:00	レッスン3：食文化と結婚習俗
2月 3日（水）	9:30 ～ 12:00	レッスン4：祭り文化（ディワリ）・文化体験活動・総まとめ

【申込締切日】 12月16日（水）

【後援】 山口市教育委員会

講師 山本 冴里（国際総合科学部教授）

【講座の内容】

この講座では、未習の言語に対してどのようにアプローチし、どのように解読していけるのかを、マレー語の絵本やセルビア語のカフェのメニューなどを題材に、体験的に学びます。マレー語もセルビア語もまったく知らないという方、ぜひどうぞ。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 30名・中学校卒業程度以上の方（マレー語、セルビア語に初めて触れる方）

【受講料】 2,000円

【開講日時】

9月 29日（火）	10:00 ～ 12:30	講義
-----------	---------------	----

【申込締切日】 9月8日（火）

【後援】 山口市教育委員会

講師 藤澤 健太（大学院創成科学研究科（理学）教授）・新沼 浩太郎（大学院創成科学研究科（理学）教授）

【講座の内容】

山口市仁保中郷には、世界的に見ても大口径の 34m と 32m の大きさの電波望遠鏡（パラボラアンテナ）があります。これらは、元は通信用だったアンテナを山口大学の研究グループが改造して電波望遠鏡としたものです。

宇宙にある様々な天体が電波を出しています。山口大学のグループは、ガスが集まって星が誕生するとき、ブラックホールがジェットを噴出するとき、そして星が爆発するときなどに放射される電波の観測を行っています。

また、山口の電波望遠鏡を単独で使うだけでなく、東アジア各国の 10 台以上の電波望遠鏡とともに同時に観測を行う「東アジア VLBI 観測網」という観測体制を作り、国際共同研究を行っています。東アジア VLBI 観測網を使うことで、単独の電波望遠鏡では見ることができないブラックホールのすぐそばで起きる現象の研究などが可能になります。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 36 名・どなたでも

【受講料】 1,600 円

【開講日時】

11 月 21 日（土）	10:00 ～ 11:00	講義
11 月 21 日（土）	11:00 ～ 12:00	講義

【申込締切日】 11 月 2 日（月）

【後援】 山口市教育委員会



講師 脇田 浩二（地域未来創生センター教授（特命））

【講座の内容】

山口県には、県中央部に『Mine 秋吉台ジオパーク』が、県北部に『萩ジオパーク』があります。ジオパークは、地層や岩石といった地質遺産に基づいて、観光や教育などを通じて、地域や地球全体の持続可能な開発を目指している国際機関ユネスコのプログラムです。日本には、現在 48 地域のジオパークが存在し、様々な活動を行っています。

この講座では、2026 年 4 月にユネスコ世界ジオパークに認定された Mine 秋吉台ジオパークを訪問し、岩石と水が、自然や人々の生活にどのように関わっているのかについて、専門家と一緒に見て回りしたいと思います。およそ 3 億年の歴史を持つ硬い岩石が、柔らかい水によってどのような姿に変えられてしまったのか？そして、岩石と水は、地域の人々の生活にどのような影響を与えたのか？そんなことを考えながら、Mine 秋吉台ジオパークを歩いて回ります。是非ご参加ください。

※山口大学に集合後、大型バスで開講場所へ移動します。

※受講料とは別に、秋芳洞入洞料金（大人 1,350 円、高校生 1,100 円、中学生 950 円、小学生 650 円）をご負担いただきます。

【開講場所】 美祢市立秋吉台科学博物館 等

【定員・条件】 30 名・どなたでも

【受講料】 4,050 円（傷害保険料を含む） + 秋芳洞入洞料金

【開講日時】

11 月 23 日 (月・祝)	12:00 ~ 12:50	講義「秋吉台をめぐる水と岩のものがたり」
	12:50 ~ 13:00	徒歩移動（秋吉台科学博物館～秋吉台カルスト展望台）
	13:00 ~ 13:30	フィールド学習「水がなくなるカルスト台地」
	13:30 ~ 14:10	徒歩移動・バス移動（秋吉台カルスト展望台～別府弁天池）
	14:10 ~ 14:50	フィールド学習「水利が紡ぐ地域の共生」
	14:50 ~ 15:30	徒歩移動・バス移動（別府弁天池～秋吉台黒谷口）
	15:30 ~ 16:30	フィールド学習「水が造る不思議な造形」
	16:30 ~ 17:00	徒歩移動（秋芳洞正面口～秋吉台観光交流センター）・まとめ

【申込締切日】 11 月 4 日（水）

【共催】 美祢市

【後援】 Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会

開放授業受講のご案内

1. 開放授業とは

「開放授業」は、山口大学が開設する学生向けの正規の授業科目を地域住民の皆様に開放している事業です。学生たちとともに同じ教室で山口大学の授業に触れることができます。

2. 申込方法等

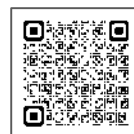
① 受講の申込み

受付開始日 2026（令和8）年7月13日（月）9時00分

締切日 2026（令和8）年8月7日（金）17時00分

- 電話・FAX・Web・郵送のいずれかの方法でお申し込みください。
※メールでは受け付けていません。

山口大学開放授業



Web申込みは地域未来創生センターHPから▶

- お申込みの際は、①氏名（ふりがな）、②年代、③性別、④郵便番号・住所、⑤電話番号、⑥連絡用メールアドレス、⑦受講希望授業科目名をお知らせください。

② 受講の決定

- 受講が決定した方には、2026（令和8）年9月中旬までに受講決定通知を郵送します。
- 申込人数が定員を超えた場合は抽選を行い、抽選結果は郵送でお知らせします。
受講生の決定は先着順ではありません。
抽選結果に関する個別のお問合せにはお答えできません。

③ 受講料の振込み

- 受講決定通知に記載している振込期限までに指定口座へお振り込みください。
入金確認完了の連絡はしていません。
振込期限までにご入金を確認できない場合は、受講できません。
開講日時欄が「未定」となっている授業は、受講決定通知郵送時に開講曜日・時限をお知らせします。
確定した日程での受講が難しく、受講を辞退される場合は、お振込み前にセンターまでご連絡ください。

④ 受講案内・受講

- 授業開始の1週間前を目途に、連絡事項やシラバス等を記載した「受講案内」を郵送します。
- 授業当日は、「受講案内」に記載した教室に直接お越しください。

3. 開設期間

後期	2026（令和8）年10月1日（木）	～	2027（令和9）年2月6日（土）
後期前半	2026（令和8）年10月1日（木）	～	2026（令和8）年11月30日（月）
後期後半	2026（令和8）年12月1日（火）	～	2027（令和9）年2月6日（土）

※ 共同獣医学部2～6年生を対象とした授業については、授業終了日が2月8日（月）

4. 難 易 度

開放授業選択の際の目安として、授業ごとに難易度を4段階で示しています。

- | | |
|---|---|
| A | 入門的な内容であり、高校卒業程度の学力を必要とする授業（大学1年生程度） |
| B | やや高度な内容であり、当該専門分野において系統立てた学習がなされていることを前提とする授業（大学2、3年生程度） |
| C | 高度な内容であり、当該専門分野において系統立てた学習がなされていることを前提とする授業（大学3、4年生程度） |
| D | 学部卒業程度の内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされており、更に独自の研究テーマがはっきりしていることを前提とする授業（大学院生程度） |

5. 留 意 事 項

- 入学試験に合格する程度の学力を持つ「高等学校卒業以上の年齢」を対象とした内容となっているため、高校生及び高校生に相当する年齢以下の方は受講できません。
- 開放授業の受講をもって単位の認定は行いません。
- 授業時間内での学習を原則とし、授業時間外の質疑等には応じかねる場合があります。
- 授業によっては、山口大学の講義支援システム（Moodle）、国立獣医学系大学連携教育システム（Glexa）や遠隔会議システム（GoogleMeet等）を使用することがあります。

※オンライン・オンデマンドでの受講又は講義支援システム等の利用時の受講生の要件

- | | |
|---|--|
| 1 | 自宅等にインターネット環境が整っていて（データ通信量無制限が望ましい。）、電子メールの送受信ができること |
| 2 | インターネットに接続して使用できるパソコンやタブレット端末（スマートフォンは推奨しない。）があること |
| 3 | パソコンの基本操作（文字入力、添付ファイルのダウンロード、インターネット検索等）ができること |

- 正規の授業科目のスケジュール上、このパンフレット作成時に開講曜日・時限が未確定の授業科目については、「未定」と記載しています。開講曜日・時限が決定次第、センターホームページ上にある各授業科目の「授業の詳しい内容」ページを更新します。
- 受講を辞退される場合は、必ずセンターまでご連絡ください。
受講料お振込み後に自己都合により受講を辞退される場合、受講料の返還はできません。
受講権利の譲渡、代理出席等お申込者ご本人以外の受講はお断りしています。
- 本学学生の履修登録がなく、授業自体が開講されなくなった場合は、開放授業を実施しません。
この場合、受講料は返還します。
- 授業担当教員の都合等により、休講及び教室変更となる場合があります。授業担当教員から授業時間内に連絡ができなかった場合や気象状況の悪化により急遽休講となる場合は、センターから個別に連絡します。
- 試験実施に伴い、授業計画に変更が生じる可能性があります。
- 領収書が必要な場合は、申込時にお申し出ください。

講師 上田 由紀子（人文学部教授）

人文学部専門科目（難易度 A）

【 内 容 】

高校までに学んだ英文法の知識を整理しながら、現代英語における文の形式的特徴や、意味的・機能的特徴について言語学的観点から概観する理論言語学の入門コースです。適切な用例を用いて、英語の言語事実について観察し、根拠を明らかにしながら、人間の頭の中で、どのような言語の仕組みが働いているのかを検討します。また、学術論文に使用されている典型的な表現や専門用語を英語と日本語の両言語で理解し、利用できることを到達目標としています。英語教育に関心のある方歓迎です。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 5名

【受講条件】 どなたでも

【受講料】 9,000円

【開講日時】 金曜日 16時20分～17時50分

【連絡事項】

教科書の購入が必要です。1回目の授業の際に購入場所等をお知らせします。

講師 上田 由紀子（人文学部教授）

人文学部専門科目（難易度 B）

【 内 容 】

「英語学（統語論）」の入門書を英語で読み進めていきます。統語論（人間言語の構造と派生のシステム）の研究分野を垣間見ることができます。英語のほか、フランス語、イタリア語、中国語、日本語などにも触れながら、人間言語の共通の仕組みと言語間の違いを生み出す仕組みについて学んでいきます。英語学（理論言語学）の特に統語論に関する専門用語を英語と日本語の両言語で理解できるように講義します。

また、観察-->一般化-->仮説-->検証という学問としての議論の流れを、この授業を通して習得することができます。「ことばの仕組み」に興味がある方歓迎です。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 5名

【受講条件】 高校卒業程度の英語力がある方

【受講料】 9,000円

【開講日時】 火曜日 14時40分～16時10分

【連絡事項】

印刷物を配布しますので、教科書の購入は不要です。

講師 角川 博哉（共同獣医学部教授）

共同獣医学部専門科目（難易度 C）

【 内 容 】

この授業では、産業動物の予防管理学について学びます。最初に主要な家畜の飼養管理法と様々な事故予防法の基本を学んだ後、代謝疾病や周産期疾病の発症メカニズムの背景にある、泌乳調節、母体へのダメージ、注意を要する乾乳期や移行期について学び、続いて TMR 法、乾乳期・移行期・産褥期などの管理法、子畜の死亡につながる要因と対策について学びます。また、環境ストレスの影響や、放牧等の LISA 型システムでの事故、群レベルでの予防管理といった知識も重要なため学びます。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 3名

【受講条件】 高校卒業程度の化学と生物の知識があり、畜産業に関わりがある方

【受講料】 9,000円

【開講日時】 水曜日 10時30分～12時00分

【連絡事項】

教科書の購入は不要です。

国立獣医学系大学連携教育システム（Glexa）を使用します。

講師 藤原 まみ（国際総合科学部准教授）

国際総合科学部専門科目（難易度 A）

【 内 容 】

この授業では、日本のアニメ、コミック、歌詞、映画、伝統芸能、随筆、小説などを素材にして、日本語の文字や音、日本文化、日本語文学の特徴を学生や留学生と協働して学び、日本文化・日本語文学について考えることを通して、アジアや欧米など世界の様々な文化・文学、自国の文化・文学についても考えます。

ポーランド、オーストリア、台湾、中国との研究者や学生を交えたオンライン交流授業を行う予定です。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 5名

【受講条件】 日本文学や日本文化について学ぶことに、関心のある方が望ましい

【受講料】 9,000円

【開講日時】 金曜日 16時20分～17時50分

【連絡事項】

教科書及び課題図書の購入が必要です。別途ご案内しますので各自でご用意ください。

課題提出に講義支援システム（Moodle）を使用しますが、技術的に難しい場合は提出不要です。

オンライン交流授業は、各自で遠隔会議システム（GoogleMeet）に接続して行います。

講師 山下 大喜（教育学部講師）

共通教育科目（難易度 A）

【 内 容 】

この授業では、次の3点を学習目標としています。

- （1）日本と諸外国で蓄積された歴史教育の原理と方法論をもとに、歴史教育にかかわる見方・考え方を理解する。【知識・理解】
- （2）テキスト課題をもとに、世界の歴史教育について理解を深め、これからの学修に必要な講読スキルを身につける。【思考・判断・表現】
- （3）（1）及び（2）をもとに、「歴史を学ぶ」意義を見出し、高学年次における自らの専門分野への学修へとつなげることを目指す。【学びへの主体性】

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 5名

【受講条件】 歴史教育、世界の教育に関心がある方

【受講料】 4,500円

【開講日時】 火曜日 8時50分～10時20分

【連絡事項】

教科書の購入が必要です。

『グローバル社会における解釈型歴史学習の可能性』土屋武志・白井克尚／編著（帝国書院）

一部の授業で講義支援システム（Moodle）を使用します。

講師 永井 涼子（国際総合科学部准教授）

国際総合科学部専門科目（難易度 B）

【 内 容 】

「日本語教育から見た多文化共生」という視点で、文化背景の異なる人とともに生きていくことについてさまざまな観点から学びます。具体的には、多文化共生の全体像や基礎知識を学んだ後、外国につながる子どもたち、オールドカマー（在日コリアンなど）、就労者（技能実習生など）、地域日本語教室、やさしい日本語などを扱います。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 10名

【受講条件】 特にないが、外国人支援、多文化共生、日本語教育等に興味を持っていること

【受講料】 4,500円

【開講日時】 水曜日 10時30分～12時00分

【連絡事項】

教科書の購入は不要です。

講義支援システム（Moodle）を使用します。

講師 藤原 まみ（国際総合科学部准教授）

国際総合科学部専門科目（難易度 A）

【 内 容 】

様々な文化圏の文学テキストを読みながら、文学テキストの基礎的な読み方を学びます。テキストについて自身の意見を持ち、それを他者に向けて表現すること、自分とは違う他者の意見を知り、違いを理解することを通じて、文化多様性について関心を持つことを目指します。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 5名

【受講条件】 課題テキストを読み、授業に積極的に参加できる方

【受講料】 4, 500円

【開講日時】 木曜日 14時40分～16時10分

【連絡事項】

教科書の購入が必要です。

『文学テキスト入門』前田愛／著（筑摩書房）

教科書の他にも課題図書を使用する可能性があります。その際は、別途ご案内しますので各自でご用意ください。課題提出に講義支援システム（Moodle）を使用しますが、技術的に難しい場合は提出不要です。

講師 山本 冴里（国際総合科学部教授）

国際総合科学部専門科目（難易度 A）

【 内 容 】

この授業では、少人数のグループに分かれ、グループごとに、はじめて学ぶ言語（国際総合科学部の交換留学先大学がある国・地域の言語を原則としますが、他言語でも可）の学習に取り組みます。その際は、合理的かつ自分にあったやり方を探し、自律的に言語を学んでいきます。また、留学生の話聴くことで、自分自身が当然と思っている事柄から距離をとり、相対化することを学びます。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 5名

【受講条件】 スマートフォンやパソコン（講義時間中に多用する）を使い慣れており、ある程度英語が使える方

【受講料】 4, 500円

【開講日時】 木曜日 13時00分～14時30分

【連絡事項】

資料は適宜配布しますので、教科書の購入は不要です。

ノートパソコン又はスマートフォンを持参してください。

講義支援システム（Moodle）を使用します。

講師 森 朋也（教育学部准教授）

共通教育科目（難易度 A）

【 内 容 】

この授業では、市場における価格メカニズム、資源配分・所得分配の効率性、資本主義の論理、労働と仕事、土地と自然環境、信用と社会関係について学び、地域社会が市場経済の拡大の中で、どのような変容を遂げているかを考えます。そのうえで、「コモンズ」論の視点から地域社会の持続可能性について考えていきます。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 5名

【受講条件】 特になし。経済の専門用語がでてくるが、それに抵抗がなく、自発的に調べることができることが望ましい。

【受講料】 4,500円

【開講日時】 水曜日 8時50分～10時20分

【連絡事項】

教科書の購入は不要です。

アクセスマップ

1. 山口市吉田キャンパス 〒753-8511 山口市吉田 1677-1



2. 宇部市小串キャンパス 〒755-8505 宇部市南小串 1-1-1



山口市吉田キャンパス

J R	バス
新山口駅から車で25分	山口大学前バス停から
湯田温泉駅から徒歩25分	徒歩3分

小串キャンパス

JR
バス
 宇部新川駅から徒歩10分
 宇部中央バス停から徒歩10分

2026(令和 8)年度山口大学公開講座・開放授業後期受講申込書

申込開始日時 2026(令和 8)年 7 月 13 日(月) 9 時 00 分

申込開始日時より前に届いた申込書の受付は行いません

申 込 者 情 報		申 込 日	R8年 月 日
ふりがな		年 代	歳代
氏 名			
		性 別	男 ・ 女
住 所	〒 -		
電話番号	※平日に連絡が取りやすい番号をご記入ください		
メー ル アドレス	@		
備 考	※高校生以下の方は学年 ※山口大学学生は所属		

希望講座・授業科目情報

公開・開放の別	講座・授業番号	講座名・授業科目名	備考
公開 ・ 開放			
公開 ・ 開放			
公開 ・ 開放			
公開 ・ 開放			
公開 ・ 開放			
計			講座・授業

- ▶ 太枠内に必要事項をボールペンでご記入の上、FAX 又は郵送で地域未来創生センターまでお申込みください。
- ▶ お申込みにより取得した個人情報、個人情報保護の観点から厳重に管理し、次の目的以外には使用しません。
 - ①当該講座又は当該授業への登録及び受講に関する連絡・運営
 - ②今後の公開講座等の案内
 - ③統計情報の作成

山口大学地域未来創生センター

〒753-8511 山口市吉田 1677-1
TEL083-933-5059 FAX083-933-5029
[受付時間] 9:00~17:00 (平日)

大学側記入欄
登録 受付



お申込み・お問合せ先

山口大学 地域未来創生センター

TEL 083-933-5059 FAX 083-933-5029

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/ext/>

〒753-8511 山口市吉田1677-1 山口大学事務局棟1号館2階 E-mail:chiiki@yamaguchi-u.ac.jp



▲オンライン申込は
地域未来創生センター
ホームページから